

あれもこれも！

清水崑作品展



美人図

2025.8.5.Tue ~ 12.14.Sun

〔開館時間〕9時～17時(入場は16時30分まで)

〔休館日〕月曜日(祝日をのぞく)、年末年始

〔入館料〕一般100円、小・中学生50円(15名以上の団体は、一般80円、小・中学生30円)

〔場 所〕中の茶屋・清水崑展示館(長崎市中小島1丁目4番2号)

〔連絡先〕Tel.095-827-6890

長崎市中の茶屋
清水崑展示館

清水崑作品展

長崎市出身の漫画家・清水崑は、戦前から戦後にかけて活躍しました。新漫画派集団（のち漫画集団）に所属しており、政治漫画、似顔絵、子ども漫画、取材漫画、似顔絵、本の装丁、舞台美術など幅広い活動を行いました。特に「崑かっぱ」と称されるほど有名になったかっぱ漫画は、妖怪のイメージが強かったかっぱ像を塗り替えたともいわれています。

今期は、清水が描いた、似顔絵、政治漫画、かっぱ漫画、書籍の装丁などさまざまな作品をご紹介します。また、晩年に取材して制作した、かっぱたちが長崎の行事を遊ぶ様子を描いた作品も展示します。

毛筆で描かれた清水崑の作品は、墨の濃淡をうまく生かすことで、時にやわらかく、時に勢いを感じる絵に仕上がっています。

中の茶屋のお庭と和室の空間で、どうぞごゆっくりと作品をご鑑賞ください。



清水崑-Simizu Kon
(1912~1974)



【似顔絵】

若い頃より似顔絵を得意とした。政治家や著名人と対談し、その似顔絵を描く新聞連載ももっていた。

永井隆



【かっぱ川太郎】

『小学生朝日』の創刊に伴い、動物漫画の連載を依頼されて生まれた作品。こどものかっぱ川太郎と家族や仲間たちの物語。

【政治漫画】

終戦直後に創刊された『新夕刊新聞』に政治漫画を連載。その後、朝日新聞社の嘱託となり、1948~1954年の間、同社新聞に連載した。



【かっぱ天国】

『週刊朝日』に1953から1958年まで連載された大人向けのかっぱ漫画。



【長崎の行事を遊ぶかっぱ】

清水崑が晩年のライフワークで手掛けた長崎の行事を遊ぶかっぱを描いた作品。長崎で三部作展を開催している。

市指定史跡 中の茶屋

中の茶屋は丸山の遊女屋「中の筑後屋」が、江戸時代中期に茶屋を設けていたところ。花月楼とともに丸山を代表する茶屋として当時の文人墨客が遊び親しんだ場所です。幕末の頃、歌われた「長崎ぶらぶら節」の一節に“遊びに行くなら～花月か中の茶屋～♪”とあります。

庭園は江戸時代中期に築かれた、数少ない遺跡の一つとして、長崎市の史跡に指定されています。

長崎市 中の茶屋 (清水崑展示館)

長崎市中小島1丁目4番2号 / TEL: 095-827-6890

🚶 思案橋電停下車 徒歩10分

🚌 思案橋バス停下車 徒歩10分

